

手を貸そう
LEND A HAND

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin



RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL.(072)622-2255 〒567-0881
 例会 毎水曜日12時30分 いばらき京都ホテル 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL.(072)620-2121
 会長/筒 仁一 幹事/掛谷 建郎 会報委員長/吉江 建郎
 委員/山口.山岡 木本

姉妹クラブ:台北西北区扶輪
 友好クラブ:インドネシア・チネレ

No.15 平成15年10月22日

本日の卓話
10月22日(水)

拉致被害者地村保志様の父 地村 保氏

例会記録

第2165 回例会 10月15日(水)晴
 ロタリーソング「奉仕の理想」斉唱
 ゲスト・スピーカーご紹介
 伊藤直行様(日本環境研究所)
 ビジターご紹介
 石田弐二君(吹田RC)

会長の時間

筒 仁一会長

本日の例会はホテルの都合により会場がチャペルに変更になりました、忙しい毎日を過ごしている中、教会の雰囲気もまたにはいい物だと思います。卓話のテーマも「癒しの音楽」-大江光さんの作品-です、ゆったりとして時間を楽しみにしています。

さて、10月11日に当クラブの地域支援活動の一つである、茨木市美術展の表彰式に出席してきました、特別賞は茨木の3RCやライオンズ・クラブ、JCなど団体が支援し多くの方が受賞されました。

出席報告

第2165 回例会			前々回(第2163 回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
34(12)	12	10	54.55%	2	90.91%

仕事に追われている私にとって美術展を見に行くことになったのもロータリーならではの感謝しております。

幹事報告

掛谷建郎幹事

1、例会変更(北摂11RCの例会変更)

千里RC:11/14(火) 於:オオサカサンパレス

2、RI及び2660地区連絡事項

- 2004年規定審議会に提出される立法案に関するアンケート依頼
- 2004年国際ロータリー第95回年次大会登録書式
- 国際大会登録に関する問い合わせはRI日本事務局へ(03 3903 3161)
- ザ・ロータリアン10月号

3、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 大阪南西RC創立30周年記念「天王寺舞楽」鑑賞の会の案内 11/3(祝)11:30~12:20 於:四天王寺内 五智光院 (詳細掲示板)
- VUNMP会&子供の家体育大会開催の案内(慶徳会子供の家) 11月9日(日)9:30~16:30 於:1部(春日丘小学校体育館)2部(慶徳会子供の家食堂) (詳細掲示板)

委員会報告

社会奉仕委員会

松尾康弘委員長

赤い羽根共同募金依頼がきております。バッチをお返しします。1個500円でご協力をお願いします。

国際奉仕委員会

久保前年度委員長

昨年のインドネシア・ジョグジャカルタ“経済的に弱い大衆の文盲撲滅のプロボザール”のマッチンググラント申請が正式に許可されましたのでご報告します。

米山記念奨学会寄付報告

秋山、久保、大木会員よりいただきました
本日までの合計 150,000円

卓 話

「心のやすらぎと癒しの音楽」

- 大江 光の世界とその癒しの音楽 -

日本環境研究所 主任研究員 伊東直行

本日は、「癒しの音楽」と題しまして、今、話題の大江 光さんの音楽についてお話をさせていただきます。

ノーベル文学賞作家であります大江健三郎先生のご長男で、知的障害者として生まれた光さんが、クラシック音楽の作曲家として自立・成功された蔭には、大江先生をはじめご家族の大きな愛があったればこそであります。その家族の愛が光さんの魂を癒したことによって、言葉では表現しにくい光さんが、『音楽こそが心の窓口』となり、音楽を通じてその深い悲しみを乗り越え、喜びを表現することが出来るようになったのです。

光さんは、当初、ご両親の言葉にも殆ど反応することがなかったそうですが、そのうちベビーベットのそばで母ゆかりさんが聞き続けたベートーベンやバッハ、モーツアルトの曲に反応するようになりました。中でも、モーツアルトを最も好み、後の作曲活動に大きな影響を与えることになりました。また、小鳥の鳴き声に反応するようになり、百数種類の小鳥の鳴き声を聞き分けることが出来るようになました。やがて6歳の夏、軽井沢の山小屋で光さんの脳が目覚めました。お父さんの肩車に乗って散歩中、遠くからかすかに聞こえる小鳥の鳴き声に「今のはクイナです」と生まれて初めて人間らしい言葉を話したのです。

脳のリハビリにピアノを習い、その後、音楽を聴きながら音符に写し取る「聴音」活動も出来るようになり、大好きなモーツアルトの曲はその殆どを聴き別けることも出来るようになりました。

大江先生によると、光さんの音楽は、はじめのうちは『魂の泣き叫ぶ暗い音楽』でしたが、自分の曲を聴いてくれた人の感動が、光さんを勇気付け、『喜び』も表現出来るようになりました。その曲が『夢』や「ザルツグルク」です。

光さんが、クラシック音楽や小鳥のさえずりに反応したのは、我々人類がお母さんの胎内にいる間に遺伝的に受け継いで来た、心地よさのリズム『f分の1ゆらぎ波』によるものと思われまます。この『f分の1ゆらぎ波』が光さんの本能的な心を揺さぶり、脳を活性化させたと考えられます。

大江先生は、ノーベル文学賞の記念講演で、息子・光さんにふれ、『音楽として、それを表現することが、それ自体で、彼の暗い悲しみのかたまりを癒し、恢復させる』と結んでおられます。

こうした『魂の発露』としての音楽が、我々の心に感動を与えるのです。

ニコニコ箱

久保副 S.A.A

結婚記念 戸川
ホームクラブ会出席 中西
先日の親睦ゴルフではからずも優勝致しました 戸川
山口会員有難うございました 戸川
金田会員にカニ道楽招待状を頂いて 中西、野田
橋本(秀)会員に写真を頂いて 中西、野田
赤い羽根募金 ¥8,000

本日計 25,000円

累計 786,809円

次回卓話

「未 定」

茨木税務署長

炭崎耕三氏